



奥直子 / Oku Naoko  
[神奈川県]



撮影：末田猛

川瀬理央 / Kawase Rio  
[静岡県]



撮影：Eiji Ina

佐合道子 / Sago Michiko  
[石川県]



撮影：Matsubara Yutaka

第17回

Ceramic Art Grand Prize Exhibition

# パラミタ 陶芸大賞展

展示期間 | 2023年6月8日(木)―7月30日(日) [会期中無休]

投票期間 | 2023年6月8日(木)―7月13日(木)

※大賞作家にご投票いただいた方には、パラミタミュージアムより記念品をさしあげます

パラミタ陶芸大賞発表式 | 2023年7月23日(日) 14:00~

◎パラミタ陶芸大賞 1名 賞金100万円

高山大 / Takayama Dai  
[三重県]



撮影：大川裕弘

戸田浩二 / Toda Koji  
[茨城県]



開館時間 | 9:30~17:30(入館は17:00まで)

会場 | パラミタミュージアム2階 第4室

入館料 | 一般1,000円(4枚セット券3,000円)

大学生800円/高校生500円/中学生以下無料

主催：公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

後援：中日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、三重テレビ放送

恒例となったパラミタ陶芸大賞展も、本年17回目を迎え、来館者による投票という大賞選考方法もすっかり定着しました。今回も、全国の美術館、画廊、美術評論家の方々から、「時代を代表する陶芸家」を推薦いただき、上位6名の作家をノミネートして、パラミタミュージアムの会場に作品を展示します。

賞の選考は6月8日から36日間の展示期間中に来館者による投票していただき、その結果により大賞を決定します。多数の皆様のご投票をお待ちしております。



酒井智也 / Sakai Tomoya  
[愛知県]



撮影：Yuji Kimura

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

■お車をご利用の場合 / ○東名阪「四日市IC」より湯の山温泉方面へ約6.5km ○新名神「菟野IC」より約4km ■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)

■電車をご利用の場合 / 近鉄「四日市駅」より近鉄湯の山線にて約25分、「大羽根園駅」下車、湯の山温泉方面へ300m ■全館バリアフリー、車椅子常備

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077

https://www.paramitamuseum.com E-mail:office@paramitamuseum.com Facebook@paramitamuseum Twitter@paramita\_muse Instagram@paramitamuseum

※掲載画像は陶芸大賞展の出品作品とは異なる場合があります



# パラミタ陶芸大賞展

## 奥 直子 / Oku Naoko



- 1988年 東京都に生まれる
- 2012年 多摩美術大学工芸学科卒業
- 2014年 常滑陶芸研究所修了
- 2015年 個展「生物博覧会」(FUMA Contemporary Tokyo)
- 2016年 個展「inside」(ギャラリー素庵・奈良屋/愛知)
- 2017年 個展「TRANSFORMATION」(ギャラリー-cera/愛知)
- 2018年 二人展「ショートストーリーズ」(ヴァリエテ本六/東京)
- 2019年 SICF20 準グランプリ  
個展「SPARK」(ギャラリー-cera/愛知)
- 2020年 SICF20 Winners Exhibition(スパイラル/東京)  
「Shower」(芸術銭湯+Café 宮の湯/東京)
- 2022年 「やきもの現代考「内⇄外」」(愛知県陶磁美術館)  
「ホモ・ファーベルの断片 一人とものづくりの未来」(愛知県陶磁美術館)  
個展「地獄の沙汰も土次第」(ギャラリー-cera/愛知)
- 現在 神奈川県小田原市在住

## 酒井智也 / Sakai Tomoya



- 1989年 愛知県に生まれる
- 2015年 名古屋芸術大学陶芸コース卒業
- 2019年 多治見市陶磁器意匠研究所修了
- 2020年 個展「Ceramics Solo Exhibition ○」(介末Art & Craft Gallery/中国)  
台湾国際陶磁ビエンナーレ(新北市立鶯歌陶瓷博物館/台湾)
- 2021年 個展「Tomoya Sakai Exhibition」(Trophée Macocotte/フランス)  
個展「リビングの未確認生命体」(銀座 鳥屋書店/東京)  
第9回菊池ビエンナーレ(菊池寛実記念 智美術館/東京)  
京畿世界陶磁ビエンナーレ(利川京畿陶磁美術館/韓国)  
第12回国際陶磁器展美濃 銀賞
- 2022年 個展「ReCollection」(スパイラル/東京)  
個展「Connection」(roid works gallery/東京)  
ART TAIPEI 2022(Taipei World Trade Center/台湾)  
「ホモ・ファーベルの断片 一人とものづくりの未来」(愛知県陶磁美術館)
- 2023年 「The Postmodern Child」(釜山現代美術館/韓国)
- 現在 愛知県瀬戸市在住

## 高山 大 / Takayama Dai



- 1972年 三重県に生まれる
- 1996年 近藤高弘に師事(〜2001)
- 2002年 タンザニアに1ヵ月滞在して土器づくりを学ぶ
- 2010年 個展(山画廊/三重)(同'14 '16 '19 '22)
- 2011年 「東海現代陶芸 思考する新世代展」(愛知県陶磁美術館)
- 2012年 個展(堤側庵ギャラリー/三重)(同'20)
- 2014年 個展(日本橋高島屋/東京)(同'16 '18 '21)
- 2015年 「東海・甲信越のうつわ展」(伊丹市立工芸センター/兵庫)  
個展(現代美術仲居/京都)
- 2017年 「URNEN」(麗州陶磁セサン/韓国、EKWC/オランダ)
- 2018年 個展(アートサロン光玄/愛知)
- 2019年 真宗高田派光泉寺住職継承  
個展(伊勢現代美術館/三重)
- 2021年 個展(パラミタミュージアム/三重)
- 現在 三重県津市在住

## 川瀬理央 / Kawase Rio



- 1990年 大阪府に生まれる
- 2012年 上賀神社アートプロジェクト フランス総領事賞  
「わん・碗・ONE展」(京都陶磁器会館)
- 2014年 京都精華大学芸術学部素材表現学科陶芸コース卒業  
個展「Flash Point」(spectrum gallery/大阪)
- 2015年 京畿世界陶磁ビエンナーレ(利川世界陶磁センター/韓国)
- 2017年 個展(ギャラリー白3/大阪)  
第11回国際陶磁器展美濃(セラミックパークMINO/岐阜)
- 2019年 個展「川瀬理央 陶展一刻」(京都陶磁器会館)  
個展「建築士事務所 民家×陶芸家 川瀬理央 完成見学会&陶芸展」(根っこやさんの家/大阪)  
第29回日工会展  
2019金沢・世界コンペティション(金沢21世紀美術館/石川)  
第8回菊池ビエンナーレ(菊池寛実記念 智美術館/東京)
- 2020年 京都花鳥館賞奨学金2020 最優秀賞
- 現在 静岡県田方郡在住

## 佐合道子 / Sago Michiko



- 1984年 三重県に生まれる
- 2009年 「現代工芸への視点—装飾の力」(東京国立近代美術館工芸館)
- 2011年 金沢美術工芸大学修士課程修了
- 2012年 「ALFAROMEO I AM GIULIETTA THE DRIVE ART」プロジェクト参加
- 2014年 「現代・陶芸現象」(茨城県陶芸美術館)
- 2015年 「Nature Creations-Flowers-」(スパイラル/東京)
- 2016年 「焼締—土の変容」(国際交流基金主催海外巡回展)(〜現在)  
「現代陶芸・案内」(茨城県陶芸美術館)
- 2018年 石川県九谷焼技術研修所実習科加飾専攻修了  
陶磁器製造技能士(上絵付け作業)1級取得
- 2019年 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科博士後期課程修了
- 2020年 「和巧絶佳展 令和の超工芸」(パナソニック汐留美術館/東京、他巡回)
- 2021年 「工芸オブジェ NEXT GENERATION展」(日本橋三越本店/東京)
- 2022年 「GO FOR KOGEI 2022」(那谷寺/石川)  
「ACTIVATET KOGEI + ART GINZA2022」(松屋銀座/東京)
- 現在 石川県金沢市在住

## 戸田浩二 / Toda Koji



- 1974年 愛媛県に生まれる
- 1996年 筑波大学体育専門学群卒業
- 1988年 伊藤東彦に師事(〜2002)
- 2002年 茨城県笠間市に薪窯を築く
- 2010年 個展(祥雲/東京)(同'12 '15 '19 '21)
- 2011年 アートフェア東京(東京国際フォーラム)(同'13 '17)
- 2012年 東美アートフェア(東京美術倶楽部)(同'14 '15 '19)  
「GEMSTONE—笠間の4人」(茨城県陶芸美術館)
- 2013年 「ASIA WEEK NEW YORK」(MIKA GALLERY/アメリカ)(〜'19)
- 2016年 ドイツプロジェクト(メイファールアン財団/タイ)(同'17)
- 2017年 個展(MIKA GALLERY/アメリカ)  
個展「戸田浩二展 —聖水— Holy Water」(LIXILギャラリー/東京)
- 2019年 「土と抽象 記憶が形に生まれるとき」(益子陶芸美術館/栃木)
- 2022年 「The Fourth Dimension うつわの未来へ」(益子陶芸美術館/栃木)  
「白と黒—光と影」(日本橋高島屋/東京、他)
- 現在 茨城県笠間市在住

同時開催

小嶋千鶴子 作陶の軌跡展

名誉館長 小嶋千鶴子(1916〜2022)は江戸時代から続く岡田屋呉服店(三重県四日市市)に生まれました。23歳で岡田屋呉服店代表取締役就任、岡田屋からジャスコ(現・イオン株式会社)を立ち上げ、役員として社員教育や人事を担当しました。そして経営者引退後は、70代から独学で陶芸を始め、一日の大半を自宅のアトリエで作陶にいそしみ、2003年3月には、20代のころから約60年にわたって収集した美術品を収蔵展示する施設として、当館を開館しました。本展では、器、陶人形など、様々な表現に挑戦した小嶋千鶴子の作陶の軌跡をたどります。

次回展覧会予告

江戸の遊び絵づくし 不思議でおもしろい浮世絵の世界

2023年8月4日(金)〜10月1日(日)

浮世絵は江戸時代の庶民の娯楽や情報源として人気を博しました。そして現代では、その芸術性により世界から注目されています。本展では、数多くある浮世絵の中から、不思議でおもしろい「遊び絵」の世界を紹介します。「影絵」「寄せ絵」「だまし絵」「判じ絵」など、現代人にも通じる江戸庶民の洒落とユーモアをお楽しみください。



paramitamuseum